

公益財団法人愛知県労働協会 中期計画の概要

1 制定趣旨・目的

公益財団法人愛知県労働協会は、勤労者の豊かで健康的な職業生活の実現と福祉の向上を目指す公益法人として、「働く意欲がある人の就労の支援」や「中小企業を中心とした職場環境の改善」の促進を図るため各種事業を展開してきた。

近年、勤労者を取り巻く環境は、多様な働き方や社会構造の変化への対応、DXの急速な進展など大きな変化が生じている。

一方、協会の運営面に目を向けると、若手の固有職員を確保し安定した組織体制を維持することや委託料収益が経常収益の約6割を占める状況に対して、協会が自律的にその役割を全うするため、協会ならではの固有の事業を増やすしていくことが必要となっている。

本計画は、こうした変化、課題に対応した中期的な方針や取り組むべき事業を明らかにし、当協会の安定的、継続的な発展に資するものである。

2 愛知県労働協会中期計画について

- (1) 愛称：労働協会事業再編プラン2028
- (2) キャッチフレーズ：～働くを支える・つなげる「あなたのために、未来のために」～
- (3) 計画期間：2024（令和6）年度から2028（令和10）年度までの5年間

3 労働協会を取り巻く現状と課題

【外的要因】

① 多様な働き方への対応

- ・ 非正規雇用労働者は増加傾向にあり、雇用者の約4割を占める状況。正規雇用を希望する者の正規雇用転換や非正規雇用を選択する者の待遇改善に関して協会として支援していく。
- ・ ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、長時間労働の削減や年次有給休暇の取得促進、男性の育児休業の取得促進などについて、協会として事業を継続実施。
- ・ 新型コロナウィルス感染症を機に導入する企業が増大したテレワークの定着・促進や副業・兼業の環境整備など柔軟な働き方がしやすい労働環境の整備に向け、協会としても新たな視点での事業展開を図る。

② 社会構造の変化への対応（人口減少と人材確保、afterコロナ、SDGs）

- ・ 人口減少に対しては、働き方改革や仕事と家庭の両立支援などの支援を通じて、子育てしやすい労働環境の改善を図り、出生率の向上につなげることで協会としての役割を果たす。
- ・ 人材確保対策として、中小企業等の人材確保支援、高齢者や子育て女性の就職支援、若者の定着支援、企業及び従業員の生産性の向上等に関して、講座・セミナー・職業相談、企業説明会等を通じた直接的な支援と職業能力開発機関等を紹介する情報発信など間接的な支援を合わせて、総合的に進めていくことが必要。
- ・ afterコロナについては、コロナ禍で培ったWEBセミナー開催ノウハウ等を活かし、受講者利便性向上を図っていく。

- ・ SDGsについては、国際社会が合意した共通の価値観であり、「働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）」を中心にSDGsの理念を踏まえた事業展開を行う。

③ DX（デジタルトランスフォーメーション）への対応

- ・ Society5.0（超スマート社会）の実現に向けた取組みが進展する中、協会としてもICT、AI等のシステム・サービスを事業展開に積極的に取り入れることが重要。企業においては専門技術者の不足が顕著のため協会として人材確保を支援していく。

【内的要因】

① 自主財源確保への対応

- ・ 自主財源収入は収入総額の6%程度となっている（2022年度の収入決算額）。持続的な発展のためには自主財源の確保は大きな課題であり、本中期計画中に道筋を付けていく。

② 委託事業への依存度が高い事業構成への対応

- ・ 委託料収入は収入総額の6割弱（57%）を占めており、その大半が愛知県からの委託事業である（2022年度の収入決算額）。持続的発展のためには協会の固有事業を拡大していくことや特定の機関との委託事業が過度にならないよう配慮した上で、設立目的に合致する国、県等の委託事業は受託することを目指す必要がある。

③ 経験豊富な固有職員の退職、新規採用職員への対応

- ・ 近年、多くのベテラン職員が定年退職等しているが、その代わりとして2019年度から正規職員の新規採用を復活させ、必要な人員の確保と組織の活性化を図っている。今後も事業内容に応じた人材の確保・育成に努める。

4 めざす労働協会の姿

今後5年間を「新たな労働協会への変革期」として位置付け、「3 労働協会を取り巻く現状と課題」で深掘りした「多様な働き方への対応」、「人材確保対策」を始めとした各要因の課題に対して、取り巻く環境や社会情勢の変化を常に注視しながら、既存事業と新規事業とをバランスよく展開して効果的な「支援事業」を行うことで、勤労者・求職者・学生等に対する就職及びキャリア形成支援や中小企業を中心とした労働環境の改善や人材確保の支援などに力を尽くす。

勤労者・求職者・学生等と地域の企業や労働組合、他で活動している支援機関を始めとした関係団体とをつなげるプラットフォームの役割を担う。

協会運営に関しては、ICTやAIを活用したDXなどで生産性の向上を図りながら、「財務基盤・組織体制の強化」を行い、サステイナブルな組織を構築する。

そして、750万県民の働くことを支える労働総合機関として役割を果たし、相互の連携を図り、県民を明るい未来へと誘っていく。

◎ 事業の構成

I プロジェクト（支援事業）	II マネジメント（協会運営）
1 サポート（勤労者・求職者・学生等に対する就職・キャリア形成支援）	1 インデペンデンス（自主事業の拡大、自立に向けた取組）
2 アシスト（中小企業を中心とした労働環境の改善や人材確保等支援）	
3 コオペレイト（労働関係団体・機関との連携）	

5 計画の方向性

I プロジェクト（支援事業）

● ICTを活かした情報提供 ポータルサイト「はたらくネットあいち（仮称）」の運用（新規）

1 サポート（勤労者・求職者・学生等に対する就職・キャリア形成支援）

- ① キャリアサポートセンター「キャリサポ・あいち（仮称）」の設置・運営（新規）
 - a 個別相談の実施（継続）
 - b 職業適性検査の実施（継続）
 - c WEBを活用した職業適性検査の実施（新規）
 - d 再就職支援セミナー・求職者実践支援セミナー等の実施（拡充）
 - e 就職を希望する女性への再就職支援事業の実施（継続）
 - f 中高年齢者向けの業界・会社説明会の実施（新規）
 - g 在宅就業支援事業の実施（継続）
 - h 大学生等会社合同説明会の実施（継続）
- ② ポータルサイトでの情報発信（新規）
 - a 【勤労者・求職者支援等】
 - b 【労働情報・労務管理事例（関係分）】

2 アシスト（中小企業を中心とした労働環境の改善や人材確保等支援）

- ① 各種セミナーの開催
 - a 労働教育講座の開催（継続）
 - b ワーク・ライフ・バランス促進に係るセミナーの開催（継続）
 - c オーダーメイド型セミナーの実施（新規）
 - d リスキリングや多様な働き方への対応、人材確保対策等新たな視点・テーマでのセミナー開催（拡充）
 - e 多彩な形態のセミナー開催（WEB、WEBと会場同時、見逃し配信等）（拡充）
 - f セミナーの動画配信（サブスクリプション方式）及び資格取得等を支援するWEB教材の開発（新規）
- ② 企業のセルフ・キャリアドック導入支援（新規）
- ③ ポータルサイトでの情報発信（新規）
 - a 【中小企業支援】
 - b 【労働情報・労務管理事例（関係分）】

3 コオペレイト（労働関係団体・機関との連携）

- ① 労働組合との共催事業の実施（継続）
- ② 勤労者スポーツフェスティバルの開催（継続）
- ③ ポータルサイトでの情報発信【労働情報・労務管理事例等（関係分）】（新規）
- ④ オーダーメイド型セミナーの実施（新規）<再掲>

II マネジメント（協会運営）

1 インデペンデンス（自主事業の拡大、自立に向けた取組）

- ① 新たな自主財源確保に向けた取組（新規）
- ② 賛助金、寄付金の獲得拡大（継続）
- ③ 自主事業の充実・拡大と愛知県との連携（継続）
- ④ 職業適性検査手数料の自主財源化に向けた調整（新規）

2 レビュー（組織体制・事業の見直し）

- ① バランスの良い職員採用の実施（継続）
- ② 事業内容の変化に対応した柔軟な組織体制の確立（継続）
- ③ 個人情報保護対策の強化（プライバシーマークの取得）（新規）
- ④ 労働協会の認知度を向上させる取組（新規）
- ⑤ 事業内容及び事業計画に照らした定款の見直しの検討（継続）
- ⑥ 国、県等の委託事業の積極的な応募と競争力の向上（継続）

3 トレーニング（職員の育成）

- ① 国家資格キャリアコンサルタントの資格取得支援（継続）
- ② 職員ニーズを踏まえた新たなスキルアップ支援制度の検討（新規）
- ③ 職員に対する様々な研修制度の実施（拡充）
- ④ 職員がやりがいを感じ働きやすい労働環境の整備（拡充）

6 めざす労働協会の姿に向けた進捗指標

進捗指標	現状	目標
プロジェクト（支援事業）全般に関わる進捗指標		
ポータルサイトのユーザー数（out put指標）	46,108 件	51,000 件
サポート（勤労者・求職者・学生等に対する就職・キャリア形成支援）に関する進捗指標		
職業適性検査の実施件数（out put指標）	40,078 件	52,400 件
就労支援セミナーの受講者の満足度（out come指標）	96.7 %	90.0 %以上
アシスト（中小企業を中心とした労働環境の改善や人材確保等支援）に関する進捗指標		
労働教育講座、セミナー等の受講者数（out put指標）	1,566 人	1,900 人
労働教育講座、セミナー等の受講者の満足度（out come指標）	82.8 %	90.0 %以上
コオペレイト（労働関係団体・機関との連携）に関する進捗指標		
オーダーメイド型セミナーの実施件数（out put指標）	— 件	17 件
オーダーメイド型セミナー実施団体の満足度（out come指標）	— %	90.0 %以上
マネジメント（協会運営）全般に関わる進捗指標		
自主財源の額（out put指標）	19,066 千円	21,000 千円
職員の仕事に対するやりがい、満足度（out come指標）	— %	50.0 %以上

※ 現状：2022(R4)年度 目標：2028(R10)年度

7 計画の推進

- ・ 本計画の効果的な推進とその実効性を確保するため、労働協会内にフォローアップ会議を設置し、毎年度評価を行う。
- ・ その際、取り巻く環境や社会情勢に大きな変化が生じていれば、計画している事業の拡充あるいは見直し、廃止や進捗指標の目標値の修正を行う。
- ・ 評価の結果については、毎年度、第1回理事会で報告するとともにウェブサイトで公表する。